

法学部同窓会 総会

10月21日(金)の午後7時より、西鉄グラン্ডホテルを会場に、第37回の法学部同窓会総会および懇親会が開催された。同窓生をはじめとして、教員や来賓、現役の学部学生や留学生をあわせ、約200名が参加した。

今年の総会は、陶山会長と酒匂法学研究院長が就任して、はじめての総会であつた。陶山会長は、同窓会のあり方を積極的に改善していくとの方針を打ち出している。その一環として、今年の総会はパワーポイントを活用して簡略化・簡素化された。また懇親会場で多くの会員



が参加可能なかたちで行われた。

総会と懇親会には、有川総長代理として落合副学長

や、山本経済学研究院長にも来賓として参加いただいた。また東京

同窓会や関西支部をはじめとする各支部からもご参加いただき、各地の同窓会活動のご報告をいただいた。さらに懇親会では、例年同様に、名誉教授の先生方、法学研究院教員、留学生などの紹介も行われた。

会場は終始和やかなムードで、多くの会員が旧交を温めた。なお法学部同窓会では、卒業後間もない若い会員の参加費を安くすることで、比較的幅広い会員の参加を例年実現できている。今後も、世代を超えて交流できる機会として発展させていきたい。

九州大学法学部同窓会事務局長・
法学研究院教授 出水薫



筑後地区九大同窓会

平成23年度筑後地区九大同窓会は11月5日(土)久留米市ブリヂストンクラブにて開催されました。出席者は会員73名、来賓として大学本部から落合副学長、ありあけ九大会から蓮尾副会長、山田会計幹事にご出席いただきました。

当日は総会に先立ち、落合副学長より「九州大学の未来」と題して大学の現状や将来の教育体制などについてご講演を頂きました。画像を使いながらの懇切なお話は大変参考になり、卒業生一同はこれからますます発展してゆく大学の姿に大変驚き、感激と誇りを感じました。総会では野田会長(昭25経卒)の挨拶、来賓ご挨拶に引き続き、公職者紹介、会計報告等の後、最年長の山下辰雄さん(昭21工卒)の音頭による乾杯で懇親会に入りました。

原武哲さん(昭32文卒)から久留米出身のドイツ文学者 菅虎雄と夏目漱石に



落合副学長による講演「九州大学の未来」

ついでのエピソードが披露されるなど、楽しいひと時を過ごしました。

筑後地区九大同窓会は全学部を対象にしていますので、初めて参加する方も多く、会員間で積極的に名刺交換を行うて交流の輪を広げています。

最後は九大グリークラブOBの音頭で出席者全員による学生歌「松原」の大会唱で盛会のうちに無事終了しました。

筑後地区九大同窓会 福田洋一
(昭33経卒)

